

「技術」に生活の知恵が！（第2学年 技術）

☆技術の学習で“めざす”こと☆

- ◎ 作品を製作したり、コンピュータを活用したりすることによって、「ものづくり」や「コンピュータ活用」の基礎的な知識・技術を習得しよう。
生活に必要な基礎的な「技術」について理解を深め、適切に活用する能力を養おう。
生活を工夫し、創造する能力を養おう。

A 「技術とものづくり」

- 生活や産業の中で、「技術」がどんな役割をしているか考えよう。
- 製作するとき、設計（材料のことや機能のことなど）をよく考えよう。
- 製作するとき、工具や機器を適切に使えるようになろう。
- 製作するとき、工具や機器を安全に使えるようになろう。
- 木材製品やエネルギー変換を利用した作品が製作できるようになろう。

B 「情報とコンピュータ」

- 情報化が社会や生活に及ぼす影響や、コンピュータの役割を考えよう。
- コンピュータの基本的な機能を知り操作ができるようになろう。
- コンピュータでよく使われる応用ソフトウェアが使えるようになろう。
- 情報通信ネットワークの特徴を知り、利用できるようになろう。
- コンピュータを利用したマルチメディアが活用できるようになろう。

☆学習を進めるにあたって☆

使用教材	教科書 技術・家庭（技術分野） (開隆堂)	もちもの	教科書・ワーク
学習の進めかた	<p>《確かな学力を身につけるには》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まずは、学習課題をしっかりとらえ、頭と体と心をしっかり使いましょう。 ○わからないところ、できないところを明確にして、学習・製作をしましょう。 ○何事にもじっくり考えて、自分にできる精一杯の工夫をしましょう。 ○自分の良いところを伸ばし、苦手とすることにあえて挑戦しましょう。 ○できるようになったこと。自分の成長したことに自信を持ちましょう。 ○作品づくりにおいては、ていねいに製作に取り組みましょう。 <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭での仕事を手伝うこと。 特に夏休み等の長期の休みに、家族の一員としていろいろな家庭での仕事を手伝うこと。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○範囲は、テスト発表時に通知します。 ○授業中に学習したことをしっかり復習しておきましょう。 		
学習上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> ○パソコン室や木工室等で授業を行う場合は、チャイムが鳴るまでに教室移動をしましょう。 ○製作においては、目的と方法を理解し、工夫して、ていねいに製作に取り組みましょう。 ○製作においては、ケガをしないように、十分注意しましょう。 ○完成したすべての作品をていねいに、また大切に扱きましょう。 ○パソコン機器をていねいに扱きましょう。 ○木工室の機械・工具を安全に使いましょう。 		

☆学習内容および評価について☆

学 習 計 画				評価にあたって	
学期	月	単 元 計 画	試験	評 価 観 点	評価の場面・方法
前 期	4	オリエンテーション 高度情報科社会のモラル について	期 末	関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度 ○コンピュータに関心をもち、情報化が 社会や生活に及ぼしてきた影響につい て考えようとしたか。 ○コンピュータに関心をもち、積極的に 操作しようとしていたか。 ○応用ソフトウェアを利用して簡単な情 報の処理をしようとしていたか。 ○情報通信ネットワークに関心をもち、 利用し活用しようとしていたか。 ○コンピュータを利用したマルチメディ アに関心をもち活用しようとしていた か。	行 動 観 察 作 品 提 出 ペ ー パ ー テ ス ト 定 期 テ ス ト
	5	パソコンの起動・操作の 仕方			
	6	ファイル管理の仕方 応用ソフトウェアの活用 ・日本語ワードプロセッ サ用ソフトウェア			
後 期	7	・表計算用ソフトウェア	期 末	工 夫 ・ 創 造 ○応用ソフトウェアを利用して情報の処 理を工夫しようとしたか。 ○目的に応じた情報通信ネットワークで の発信ができるように工夫しようとし ていたか。 ○課題解決のためのマルチメディアを効 果的に活用できたか。	行 動 観 察 作 品 提 出
	9	・図形処理用ソフトウェ ア			
	10	複数の応用アプリケーシ ョンソフトウェアの同時 活用の仕方			
後 期	11	インターネットの活用	期 末	生 活 の 技 能 ○コンピュータの基本的な操作ができた か。 ○応用ソフトウェアの操作ができたか。 ○インターネットや電子メールを利用し て情報を収集発信することができた か。 ○マルチメディア用応用ソフトウェアを 活用することができたか。	行 動 観 察 作 品 提 出 ペ ー パ ー テ ス ト 定 期 テ ス ト
	12	ホームページのしくみ			
	1	マルチメディア ・パワーポイントによる プレゼンテーション			
	2		学 年 末	知 識 ・ 理 解 ○コンピュータの機能・操作に関する知 識を身につけているか。 ○応用ソフトウェアに関する知識を身に つけているか。 ○情報通信ネットワークやマルチメディ ア活用の知識を身につけているか。	作 品 提 出 ペ ー パ ー テ ス ト 定 期 テ ス ト
	3				